

うち越やくら、井上さとし当選!

党市議団は参院選、妙高市議選に全力

憲法改正の是非、安心できる年金制度、消費税増税の是非などをめぐり注目された参院選は21日、投票が行われました。

この結果、自民・公明・維新などの改憲勢力は改憲発議に必要な3分の2を割りました。

（こ）上越市において私たち議員団は、新潟選挙区については、市民と野党の共同により憲法改悪、消費税増税反対、安心できる年金制度の確立をかける「うち越さくら」候補を当選させるために、また比例区では井上さとし候補を当選させるために全力を尽くしてきました。

上越市では、選挙区で自民党の現職を約5000票引き離し、うち越当選に大きく貢献しました。また比例でも5398票を獲得、井上さとし当選のために一定の役割を果たすことができました。

橋爪議員団長は今回の結果について、「何よりもご支援、ご協力いただいたみなさんに心から感謝します。憲法改悪の動きに一定の

歯止めをかけることができましたこと

が一番うれしい。上越市では、3年前から積み重ねてきた市民と野党の共同を進化させた結果、国政選挙は3連勝となった。今回も上越市での奮闘が勝利に貢献した。

残念ながら、比例については、現有議席を1つ下回る結果となったが、次の衆院選に向けて、いまから準備していきたい」との談話を発表しました。

なお、日本共産党議員団は同日、投票されたお隣の妙高市議選にも支援に入り、霜島栄之、丸山政男両候補の当選のために奮闘しました。選挙の結果、両候補が当選し、議案提案権を再び確保できたことは大きいものがあります。今後とも、力を合わせて、市民の皆さんの暮らしと平和を守るために頑張ります。

（下のイラストは、23日、うち越さくらさんが上越選挙事務所へ挨拶に来られた時に、各野党、各団体等の代表が手をつないで当選を祝ったときの風景を描いたものです）



定数、報酬などでの党議員団の見解

上越市議会の議員定数及び報酬等の在り方検討委員会が23日行われ、これまでの議論をまとめ、「議員定数、報酬は現状通り。政務活動費は会派分を減額し、個人分を増額する」ことで合意しました。正式には年度内に所定の手続きを経て決まります。

日本共産党議員団はこれらの問題について、議員団ニュースなどでも一定の報道をしてきましたが、近く、議員団のホームページに「日本共闘議員団の見解」全文を掲載します。ここでは大要を掲載します。

【議員定数】議員定数は現状通りとする。議員定数は市民の意見がいかんにか反映されるかが重要だ。その意味では定数削減は市民の声を削ることになる。議会制民主主義の根幹に関わる問題である。一部に「議員の身分に関わる問題」「財政が厳しい中で議員自らも痛みを覚悟しなければならない」と言われる議員もいるが、これは全くの認識違いである。痛みを受けるのは政治の主体者たる市民である。

【議員報酬】有識者会議では、「果たして報酬を引き上げたからと言って本当に議員として頑張ろうというものにつながるのか疑問だ」という声が出た。また、「報酬をあげるという前に、議会や議員の活動が市民のためになっているのか、議員仕事の重要性を理解してもらうことが先ではないか」等の意見が出されたが、もっともであると考え。議会改革については当市議会では先進的取り組みに向け努力をしているが、その「見える化」が課題でもある。いずれにしても議員活動・議会活動が市民から信頼を得ることが先である。

【政務活動費】現状維持。上越市議会では、支出は1円からの領収書が必要であることやインターネット公開がされるなど、公正性、透明性がしっかりと担保されている。このことを市民にしっかりと理解してもらう努力をした上で、検討を進めていくことが求められる。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.632 2019年7月28日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)